

道とし、其他哈密、巴里坤間に通ずる馱獸路、故城又は巴里坤に到る車道あり。

天山の最高峯

木蘇爾達坂の氷河

又中部なる天山々脈中の最高峯汗騰格里峯は、海拔殆んど二萬一千尺に達す。此部には、南路の阿克蘇より、北路の伊犁に通ずる木蘇爾達坂山路あるも、途上氷河の漲る有るを以て甚だ難路たり。又喀喇沙爾伊犁間の一路那喇特山路は、約一萬尺の高度を越ゆるも騎行困難ならず。故に該山路は伊犁と南路との交通上實に主要なる通路とす。

天山の西部には數條の山路ありて、南路より露領に通ず、其烏什より西北して喀喇濶勒に出で伊犁に通ずる馱獸路あり、其嶺を畢底爾達坂と呼ぶ甚だ險路なり。又喀什噶爾より北して納林斯廓に通ずるもの、辛ふじて車輛を通ず、其嶺を圖魯噶爾特達坂と曰ふ。喀什噶爾より西して喀喇鐵列克達坂を越え安集延に通ずる馱獸路は、從來南路と露領土耳其機斯坦との通商路たり。而して以上三路共に海拔一萬二千尺以上の嶺を超過せざるべからず。

天山の地質

天山の地質未だ詳かならずと雖も、其大略を摘記せば、諸高山は、花崗岩を以て成り、突兀空中に聲へ、稍々低き山々は多く紫黑色を帯びし巖嶂より成り、漸次降下す